

令和8年8月19日

蕨市長 頼高 英雄 様

蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議

会長 林 大樹

### **蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る意見について**

本有識者会議は、市長より委員の委嘱を受けて、令和8年7月16日に蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略について検証を行った。

蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略で掲げる取組は、地方創生の推進に向けて概ね着実に実施されているものと思われるが、今後も、持続可能な都市として発展し続けるために、引き続き本戦略で掲げる取組を推進されたい。

なお、検証の過程で出された意見については、別添の「蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る意見」に整理したので、施策・事業の推進にあたっては十分に配慮・検討されたい。

## 別添 蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る意見

### (蕨市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンの現状について)

○蕨市に限らず、外国人住民が日本全国で増加しているなか、以前は日本の習慣やマナーなどの周知に課題を感じることもあったが、現在は市の支援や町会・自治会の協力により改善してきているように思う。今後も引き続き地域社会で協力し合い、互いに共生の意識をもつことが重要であると考えます。

### (第3期 蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略について)

○防犯カメラの整備や、通話録音機能付き電話機の購入費補助などにより、犯罪の起きにくい環境づくりに取り組まれているが、多様化している犯罪に対しても対応できるよう、今後とも更なる取組の検討や警察等と連携した取組の推進を図られたい。

○全国的に上・下水道の老朽化が課題となっているなか、蕨市の上・下水道の耐震化と長寿命化促進の取組は、他市と比較しても進んでいる。これは、これまでの着実な取組の成果として、誇るべきものであり、今後も継続して進められたい。

○小・中学校のトイレの洋式化については、全国的にはまだ十分に進んでいないなか、蕨市では整備が着実に推進されている。今後も、引き続き子どもたちの快適な教育環境の確保に向けた取組を進められたい。

○空き店舗有効活用事業補助金をはじめとする創業支援事業などにより、市内の創業件数は、近隣市と比較しても少なくない。あわせて、今後は、事業者が事業を継続していくためにも、更なる取組を進められたい。

○蕨駅西口再開発により、駅前には多くの人が訪れることが期待される。今後は、商店街全体の活性化の取組や、商店街に住む人たちと新しく出店する事業者とをつなげる取組、川口市と連携した東口のにぎわい創出の取組なども検討されたい。

○蕨ブランド認定制度は、地元企業ならではの希少価値ある商品をPRすることで、地元企業の支援・地域産業の振興に寄与する良い制度であるため、今後も、更なる取組の充実を検討されたい。

○市公式SNSは、市民が気軽に市の取組を知ることができる有益な情報発信ツールである。市の行っている様々な取組について、若い世代にも周知が行き届くようにするために、更なるSNSの活用・工夫に取り組まれたい。

○にぎわい交流拠点について、早期の整備を進め、今後も長くにぎわい創出の拠点となるよう活用を図るとともに、蕨市が今後も長期的・継続的に人が集まるまちであるために、特色のあるまちづくりに一層取り組まれたい。

○蕨市ではすでに多くの健康づくりの取組が行われているが、今年、開催されるねんりんピックにおいて、蕨市は将棋大会の会場となることから、これを機に、認知症予防や健康増進に効果があるとされる将棋を健康づくりの取組に活用することについても検討されたい。

○建て替え後の市立病院では、スマートフォンのマイナ保険証利用やデジタル診察券、電子版お薬手帳などのデジタルサービスの導入を検討されたい。

○蕨市に転入し、転出するまでの一定期間であっても「蕨市民」として暮らす人たちが「蕨市に暮らして良かった」と実感できるよう、市民として主体的に活動する機会を提供する支援策を検討されたい。